

書 写

東京書籍

三省堂

教育出版

光村図書

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目（書写）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>東京書籍（『新編 新しい書写』）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を整えて速く書くために習得すべき知識及び技能が「書写のかぎ」として明確化・焦点化されている。 ・身の回りの事柄に関連付ける学習により、思考力・判断力・表現力を向上させることができるよう工夫されている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<p>(1) 楷書や行書、両者の使い分け、場面や目的に応じた書き方等を習得できるよう、発達段階に応じた教材文字が配置されている。</p> <p>(2) 文字文化への興味関心を喚起するコラムや活動を掲載した「文字といっしょに」や、書写で身につけた力を活用する場面を想起させる「生活に広げよう」で、生徒が主体的に書写に親しむことができるよう工夫されている。</p> <p>(3) 運筆動画が視聴できるQRコードにより、生徒が必要に応じて学習のポイントを確認し、主体的に課題解決に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>(4) キャラクターによる学習のポイントや課題の提示により、学習課題を理解しやすくし、意欲を引き出す工夫がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1) 「書写のかぎ」で点画の書き方や省略、行書と楷書の調和等の学習事項を、段階的に指導できるよう単元が配列されている。</p> <p>(2) 楷書と行書を比較して、点画等の差を意識し、硬筆・毛筆ともに基礎的な技能を段階的に指導できるよう配慮されている。</p> <p>(3) 「書写活用ブック」では、教科の学習や生活で使うさまざまな書式について例を提示し、書写を日常生活で活用する力を養う工夫がされている。</p> <p>(4) QRコンテンツの充実により、書写の学びがより豊かになる指導が実現できるよう工夫されている。</p> <p>(5) 「行書のまとめ」や「書写テストに挑戦！」では、「振り返り」や「確かめ」により、習得すべき知識及び技能の明確化や、能力の確かな定着が促されるよう工夫されている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付けることで書写を身近なものとしてとらえ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・書写の学習を通して、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の工夫がされている。

種目（書写）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>三省堂（『現代の書写』）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で身につけたことを硬筆でも実践するような誘導があり、技能の習得ができるように工夫がされている。 ・豊かな文字文化への認識が深まるような教材を設けることにより、文字や手書きの意義を認識できるよう配慮がされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<p>(1)行書の単元では、ページの見開きの右側に身につけるべき学習事項が示されており、左側が手本となっている。ただ毛筆練習をするのではなく、学習事項を意識しながら学習に取り組めるように工夫がされている。</p> <p>(2)毛筆の解説動画はただ運筆が示されるだけでなく、学習の要点を捉えやすいように、強調表示や楷書との比較が示されるなどユニバーサルデザインとなっている。</p> <p>(3)「学力テスト問題」が設けられており、行書で学習した技能を知識としても身につけられるよう工夫がされている。</p> <p>(4)文字の変遷や身の回りの文字、日常の書式が取り上げられたり、普段の文字に生かす活動が提示されたりするなど、生徒が興味をもって主体的に学びを進められる工夫がされている。</p>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<p>(1)毛筆の単元には「書いて身につけよう」が示され、学習事項を日常の硬筆に返しやすいように工夫されている。</p> <p>(2)解説動画に楷書と行書を比較した動画が用意されており、楷書から行書への変化が視覚的に指導できるよう工夫されている。</p> <p>(3)教科書の終末に行書での学習事項がまとめられており、既習事項を確認しながら学習しやすいよう配慮されている。</p> <p>(4)授業で学習したことが知識として身につけているか確認するためのテスト問題が示されており、日常生活への活用を意識させる工夫がされている。</p> <p>(5)楷書体から行書体、行書と仮名の調和、というように段階的な単元配列がされていて、社会生活に生きる学びの構成となっている。</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の学習の後に硬筆で反復学習ができるようになっており、書写の学習を日常生活に落とし込みやすいように工夫がされている。 ・「書き方」の段階的な明示により、既習事項を活用した学習が積み重なり、技能の高まりが実感できる構成となっている。

種目（書写）

採択基準	発行者名 教育出版（中学書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭で「学習の進め方」が示され、毎時間の学習過程が確実に理解でき、基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されている。 ・「考えよう」の学習では、自ら課題を発見し学びを深めたり、話し合い活動を通して学びを深めたりできるように工夫されている。また、気づきを教科書に直接書きこむこともできる。 ・書写の学習内容に沿ったノートの取り方や、掲示物・案内の書き方等、各教科の学びや日常生活でも活用できる教材構成がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	(1)硬筆・毛筆教材ともに生徒の発達段階や生徒を取り巻く現代環境が考慮され、学習要素が明確な文字や語句、国語の授業でも取り扱う古典教材などが教材化されている。 (2)実生活で生きて働く力を育成できるよう、基本的な手紙の書き方、小包伝票の書き方や日常生活で使用する多様な筆記用具なども示し、生徒の学ぶ意欲を向上させる工夫がされている。 (3)「考えよう」の場面では、教材文字と試し書きを比べたり、まとめ書きで学習目標が達成できたか確認したりすることができる。また、話し合い活動で意見を交換したりしながら、自分の課題に気づき、必要な技能を身につけるように工夫されている。 (4)Ⅰ 半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方などがわかりやすくできている。また、見開きで学習内容や手順、目標、振り返りがまとめられているため、深い学びにつながる。 Ⅱ 学びリンクで学習内容の確認や毛筆の筆使いの確認をすることができ、生徒が自分の学習を確認しながら学習を進めることができる。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1)ノートの効果的な取り方の学習から始め、書写の学習が自分の学びに効果的であることを実感してから、楷書の復習、字形、仮名、行書と段階を踏んで学習できるように学習内容が配列されている。 (2)運筆方法などの基礎・基本を硬筆、毛筆で確認しながら確実に習得し、3学年では1、2年で学習した行書と仮名の調和を目指した書写に挑戦できるよう配慮がされている。 (3)「学習を生かして書く」などで学習した単元系統や筆記具の特徴など、習得したことを日常生活の中で利用したり、他教科の学習に利用したりできるように関連が図られている。 (4)コラムによって書写の目的や奥深さを伝えるだけでなく、写真による豊富な資料や左きき生徒への配慮もされている。 (5)目標と振り返りが見開きで見られるようになっているため、学習内容を把握しやすく、自分の考えを書く欄や試し書き、まとめ書きをする欄も同じページに設定されているため、自分の課題を意識しながら目標達成を目指して学習を進めることができるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きで1時間の学習内容が明示されているため、生徒自身が見通しをもって学習に取り組むことができることに加え、自分の考えをもつ場面、話し合いによって考えを深める場面と言語活動も充実して行うことができる。 ・書写で身につけた能力がその場だけで完結せず、日常生活や他教科でも生かすことができるように配慮がされている。 ・写真や動画が豊富で、学習者の理解の手助けになるよう配慮されている。

種目（書写）

採択基準	発行者名 光村図書（中学書写）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の基礎・基本、原則・原理を明確に示すことで、知識及び技能を習得できるよう工夫がされている。 ・全教材で学習展開がパターン化されており、見通しをもって学習できるよう工夫がされている。 ・身の回りの文字文化に触れられる資料が取り上げられていて、書写学習で身につけた力を活用できるよう配慮がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒の発達段階に即して学習が進められるように構成されており、国語の教材や日常生活に関連した文字や言葉、文章が選定されている。 (2) 手紙やはがき、原稿用紙等の書式や、学校生活や日常生活に生かせるような活用例等が示され、生徒が興味・関心をもてるよう配慮がされている。 (3) 「考えよう」をきっかけにした気づきをもとに、「確かめよう」で原理・原則を確認し、「生かそう」で日常生活に生かせるよう工夫がされている。 (4) レイアウトや配色、フォントを工夫することで、混乱や読みにくさが生じないよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	(1) 3年間の学習を日常で活用できるよう、発達段階に合わせて段階的かつ系統的な単元の配列になっている。 (2) 毛筆教材や「書写ブック」、運筆動画を相互参照しながら活用することで、基礎的な技能を段階的に指導できるよう配慮がされている。 (3) 生活の中にある書や行書の作例を掲載し、書写で得た知識及び技能を硬筆に生かせるよう工夫がされている。 (4) 筆の動きを写真で示すだけでなく、運筆などの動作を確認したいときに確認できるよう、QRコードが配置されている。 (5) 全教材のはじめに学習目標が明示されており、それに即して学習に取り組み、自分自身で振り返りができるように構成されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やQRコードが配置されており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるよう工夫がされている。 ・「中学校書写スタートブック」や「書写ブック」が設けられ、毛筆を意欲的に学べるとともに、硬筆と繋げて学ぶことができる。